

学校関係者評価報告書

愛媛県立伊予高等学校（その1）

学校番号 30

評価実施日		令和 2 年 2 月 18 日 (火)		
委員	氏名	所属等	備考	

評価・提言等	提言等に対する改善方策等
<p>(1) 学習指導 先生方の努力と献身的な関わりが生徒さんへも伝わっている結果として、生徒本人が「学力向上を実感している」と感じる生徒が7割もいるのは素晴らしいことだと思う。</p> <p>先生方の御指導と生徒の自主性により「家庭学習時間」が大きく伸びており、今後も大いに期待できると思う。生徒の学習をするという意欲を伸ばすことが大切である。</p> <p>総合科目選択制の導入と実施は素晴らしい。今後はその学びに生徒たちが自分の未来の姿をイメージできるとさらに良い結果が見込まれる。</p>	<p>将来のために必要と思う科目を選択するからこそ一生懸命にできるということもあるというのが「総合科目選択制」のねらいである。それによってもっと学びたいという気持ちをもってもらい、学力向上への意欲や、家庭学習への取り組みなどにもいい効果が出ればと期待している。</p> <p>全員が納得できる選択ができているとは限らないが、毎年教育課程を見直していき、より生徒が納得できるものを追求していきたい。徐々に見え始めた新入試にも対応しなければならない。そのための一つの方策として、前・後期制にして半年ごとに単位修得ができるようにするのも良いのではないかと考える。</p>
<p>(2) 生活指導 遅刻する生徒が少なく、身だしなみ指導では成果が上がっていると思われる。</p> <p>いじめについては早期発見をし、ワンチームでの組織的な早期対応がなされている。</p> <p>人間関係も希薄になっている昨今、相談体制やいじめ対策を願います。</p> <p>基本的な生活習慣のあいさつや清掃、5分前登校はほぼできている。相談相手がいない生徒が少ないのは寂しいと感じます。</p> <p>校則は何故守るべきものか？それは「自分たちが決めたルールだから。」という意識を醸成すればよい。</p> <p>交通マナーの遵守、命を大切にされた指導の徹底が継続されることを期待。心身や家庭への配慮の増加の中で、1か年皆勤の目標は重要か？</p>	<p>遅刻する生徒や交通事故に遭う生徒、身だしなみ指導で不合格の生徒は減っている。しかし、特別指導件数は昨年度と比べて大幅に増加した。1、2年生はいじめの加害者、3年生は無断アルバイトが多かった。生徒申告で問題行動が発覚するケースが多かった。生徒と教員の信頼関係は良好であるが、生徒・保護者の価値観が多様化・幼稚化しており、対応に苦慮する場面が非常に多かった。生徒間の人間関係も予想以上に希薄である。教員間の連携は取れているので、これまでと同様に周囲の協力も得ながら、組織的かつ早期に問題解決を目指したい。</p> <p>働き方改革の面からも定期家庭訪問は原則廃止とする。その分、特別家庭訪問を奨励したい。携帯・スマホの学校への持ち込み規程もSNSへの不適切投稿等に対応するために検討を加える。ノンアルコール飲料や電子タバコ等は成人対象を理由に禁止であることを生徒手帳に明記する。異常気象への対策、適切な身だしなみを生徒に考えさせるきっかけとして、制服着用日（衣替え）を廃止する。</p>

学 校 関 係 者 評 価 報 告 書

愛媛県立伊予高等学校（その2）

学校番号 30

評 価 ・ 提 言 等	提言等に対する改善方策等
<p>(3) 特別活動 申し分ありません。 学校行事への生徒の取り組みは見ていて気持ち がよい。部活動は公立高校にあつては全国的に 同傾向だと思う。 伝統的と言っても良いぐらい満足感を持って いるようである。 なりたい自分をイメージさせ、自分なりの目標 を生徒に立てさせる。目標に到達できなくて も、そこまでのアプローチが大切。 学校行事、部活動、ボランティア活動が活発で いい学校だと思います。</p>	<p>学校行事は本校の大きな魅力となっている。 感動・充実、主体性・連帯感等を経験させ、 大きな成長が期待できる機会となるよう引き 続き充実させたい。 部活動においては、本年度より活動指針を策 定し、原則週休二日で実施している。少なく なった活動時間を合理的・効率的で適切な活 動になるよう今後も指導の工夫を重ね、成績 だけを追い求めるのではなく、進路実現の手 段にできるようにしていきたい。</p>
<p>(4) 進路指導 先生方の努力、関わり、ありがとうございます。 生徒の多様性を尊重し指導する方向性の中で生 徒と教師のポイント差が気になります。 個別面談、情報提供など先生方のご努力がよく わかる。出口の指導の充実をお願いしたい。 様々な機会を設けて指導されていると思う。 個別面談も多いし、進路に沿ってクラスも替 えていて、いいと思います。 なりたい自分をイメージさせ、自分なりの目標 を生徒に立てさせる。目標に到達できなくて も、そこまでのアプローチが大切。</p>	<p>進学生徒の5割以上が、推薦やAOといった 入試方式で合格を決めている現状には、教科 学力以外にも課題解決能力やプレゼンテー ション能力などを多面的に身につけさせるこ とを、志望理由書や小論文、面接等の指導を 含めて、3年間の教育活動の中で計画的に 行っている成果であるといえる。 これからも、新入試制度に対応できる学力や 協働性を育むことのできる学習環境、各種講 座を整備し、生徒だけでなく保護者にも、変 わっていく入試改革の内容を分かりやすく伝 えていくことを心がけたい。 また、地元志向の強い生徒も多いため、松山 大学の入試対策など、焦点を絞った進学指導 にも継続して力を注ぎたい。</p>
<p>(5) 人権教育 人権教育の日常化と部落差別解消推進法のねら いの具現化のための学校、教職員、生徒の学び が重要であると考えます。 アンケートを見る限りでは日ごろの成果が見 られるが、一つの事例が浮上してもならない問題 だけに注意。 「人権が保障される」とは「安心」「自信」 「自由」が保障されることだと考える。まず教 師集団にその3つを。 学校も積極的に取り組まれていると思います。</p>	<p>教職員研修を年度当初、10月、2月の3回 全校で行っているほか、人権デーの感想をま とめる活動を進めて全校に広げていく。 同和問題にかかわる差別事案は近年起こっ ていないが、人権・同和教育を積極的に推進 して、全教職員で今後も対応していく。 「働き方改革」を進めるなかで、教師集団 に「安心」「自信」「自由」が保障されるよ う努め、生徒への指導にいかしていく。 今後も積極的な取組につなごう、全教職 員で活動の充実を図る。</p>
<p>(6) 読書指導 生徒の生活の変化(情報化)の中で、学校だけの 問題ではないだろう。教科と併せて「読解力」 の育成でA I時代を乗り越える。 最近の傾向が表れている。 学校図書館が魅力的な空間となるように整備す る。ビブリオトークやビブリオバトルを生徒会 で企画・運営する。 朝の読書を取り入れ、苦手な生徒も参加でき ていると思います。</p>	<p>全校生徒を対象にしたアンケート調査結果か らは、生徒に限らず家庭そのものの活字離 れ・新聞離れが読み取れる。想像力豊かな人 間の育成が、将来にわたって円滑な人間関係 を形成することにも役立つため、朝の読書の 時間の継続と深化に取り組んでいきたい。 昨年度から始めた生徒からのリクエスト本の 購入は、読書へのきっかけ作りに役立ってい るので継続していきたい。</p>

学 校 関 係 者 評 価 報 告 書

愛媛県立伊予高等学校（その3）

学校番号 30

評 価 ・ 提 言 等	提言等に対する改善方策等
<p>(7) 学校経営 新しいチャレンジを推進しながら、基本的な部分での取り組みの徹底、ありがとうございます。 校長先生の経営方針が教職員に浸透している。 伊予高の特色づくりの継続を是非お願いしたい。 生徒数の減少は少子化という社会現象なので、仕方ないと思う。特色ある個を生かす工夫も必要では。 学ぶ意欲とスキルを高める内容を含んだ授業に改善する。また、地域に出向き、幼小中生に伊予高生が学びを伝える等の伊予高生の「姿」を発信する。 職員の学校への愛着がDというのは悲しい。</p>	<p>本校が行っている改革の方向性に対する意識の共有が浸透してきた。生徒の基礎学力の低下や、家庭を含めての価値観の多様化など、山積する課題への対応をチームとして行うことができるように、教職員間の連携をより深めていきたい。また、日頃の教育活動の達成度に見える化を工夫し、PDCAサイクルを構築していきたい。 地域との連携については、各種ボランティア活動への積極的な参加とともに、地域行事への参加も呼びかけ、本校ホームページで報告を行いたい。</p>